

心わくわくへ

# 議会だより

Vol.233

令和6年5月9日  
発行



心わくわく♪ 新1年生

(長興寺小学校で入学式・4月8日)

令和6年第1回定例会

もくじ ● CONTENTS

令和6年度予算は62億3063万円……………2

予算特別委員会で新年度予算を集中審査……………4

第1回定例会 こんなことが決まりました……………6

村政を問う・一般質問に3人が登壇……………12

小さな太陽・明日をひらく子どもたち《伊保内小学校》……16

# 令和6年度当初予算 62億円を可決

誰もが住みたい、  
住み続けたい  
九戸村の実現を目指して



**令** 和6年第1回定例会は、3月4日から15日までの12日間の会期で開かれました。初日の本会議では、村長と教育長の施政方針演述(※)が行われました。一般質問には、3人が登壇。災害に強いむらづくりになど、これからの村政を多項目にわたっていただきました。

今定例会では、村長から令和6年度当初予算や条例など53件の議案が提出され審議の結果、全ての議案が原案のとおり可決されました。

**一般会計予算6.6%減**

令和6年度の一般会計と特別会計、公営企業会計を合わせた当初予算の総額は、62億3063万円(4割に予算額を掲載)となりました。

このうち一般会計予算額は47億1442万円、前年度と比較すると3億3278万円、6.6%下回りました。

これは、4月に村長選挙が行われることから、経常経費が主な内容の骨格予算であること。昨年度4億3297万円を計上した災害復旧費に、予算を措置する必要がなかったことなどによるものです。

※ 村長施政方針演述については、「広報KUNOHE 2024年4月号」の8~13ページに掲載されています。

## 一般会計予算

### 自主財源20.7%の依存型財政

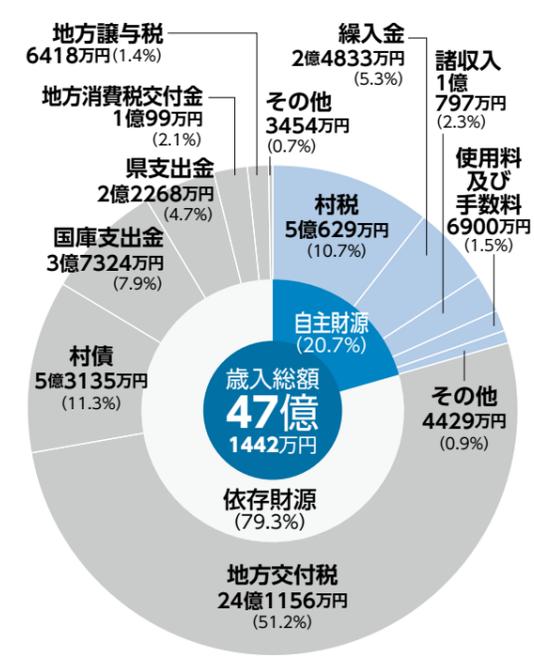
一般会計予算の歳入で最も多いのは、国から交付される地方交付税の24億1156万円、全体の51.2%を占めています。そのほか依存財源では、村債が5億3135万円、国庫支出金3億7324万円、県支出金2億2268万円など、合計37億3854万円となっています。

これに対し、村税5億629万円を含めた自主財源の額は9億7588万円、前年度より3808万円の増となりましたが、その割合は20.7%と依然として低く、国や県に依存する財政となっています。

**総務費26.9%アップ**

歳出では、総務費(一般事務経費など)が12億6657万円、全体の26.9%を占めてトップとなっています。次が民生費(福祉対策や保育園など)で8億7720万円、土木費(道路や住宅など)7億2043万円と続いています。

## 一般会計予算・歳入



## 一般会計予算・歳出

### 47億1442万円の使い方

・丸数字は、金額の多い順番 ・「%」は、構成比  
・カッコ内は、前年度当初予算額との比較増減

**令和6年度 一般会計予算**  
村民1人当たりでは  
(令和6年3月末の人口5,186人)  
**909,067円**

<p><b>①総務費</b> 26.9% 12億6657万円 (△3104万円)</p>	<p><b>②民生費</b> 18.6% 8億7720万円 (1262万円)</p>
<p><b>③土木費</b> 15.3% 7億2043万円 (△6万円)</p>	<p><b>④公債費</b> 11.3% 5億3285万円 (△453万円)</p>
<p><b>⑤教育費</b> 7.8% 3億6509万円 (2154万円)</p>	<p><b>⑥農林水産業費</b> 7.2% 3億3864万円 (5079万円)</p>
<p><b>⑦消防費</b> 5.9% 2億7962万円 (1563万円)</p>	<p><b>⑧衛生費</b> 4.5% 2億1397万円 (3547万円)</p>
<p><b>⑨商工費</b> 1.3% 6163万円 (△285万円)</p>	<p><b>⑩議会費</b> 1.1% 5342万円 (262万円)</p>

# 予算特別委員会

**問** 水道事業会計の資本的支出に計上している約2億円の工事請負費は、どのような内容の工事を予定しているのか。

**答** 水道水の安全確保を目的に宇堂口水源へ、膜ろ過設備を設置するものだ。この工事は、消毒に用いる塩素への抵抗性が高いクリプトスポリジウム(病原性

## 水道事業会計

- 一般会計の主要事業 ●
- ・ 村道新設改良事業 ..... 3億5316万円
  - ・ 橋梁長寿命化修繕事業 ..... 1億1007万円
  - ・ 川向集落センター建築事業 ..... 1億192万円
  - ・ 地域おこし事業 ..... 8628万円
  - ・ 集落生活基盤環境整備事業 ..... 5000万円
  - ・ デマンド交通運行事業 ..... 2638万円
  - ・ 九戸村こども手当 ..... 1516万円
  - ・ 地域農業計画支援事業 ..... 1211万円
  - ・ 自治公民館等整備事業 ..... 800万円
  - ・ ICT環境整備事業 ..... 692万円
  - ・ 伊保内高校魅力化推進事業 ..... 500万円
  - ・ 農業生産基盤整備事業 ..... 476万円
  - ・ 小学校閉校記念事業補助金 ..... 400万円
  - ・ 除雪機整備事業 ..... 316万円
  - ・ 防火水槽改修事業 ..... 246万円

## 公共交通対策

**問** デマンド交通が新年度に開始される。タクシー運行維持対策事業費補助金は、その関連事業か。

**答** デマンド交通は、時間限定での運行となるため、75歳以上の方を対象に、タクシーの村内利用を助成(※)するものだ。

微生物(対策として実施する。



九戸村 AI オンデマンド交通「まさざねGO」お披露目式

デマンド交通運行事業 2638万円

デマンド交通「まさざねGO」を運行します。デマンド交通とは、利用者が事前に予約し、乗車する公共交通です。本村では、村内を北側と南側の区域に分けて、それぞれ1台ずつワンボックスカー(定員12人)を運行します。



九戸村子ども手当 1516万円

村の単独事業として、子ども手当を支給します。  
● 月額支給額  
・ 就学前児童 2000円 ・ 小学児童3000円  
・ 中学生 4000円

## 国民健康保険

**問** 国民健康保険(国保)の保険料水準の県内統一に向けた取り組みが、加速化して進められると聞いた。どう対応していくのか。

**答** 国保の経営主体である県は、運営方針で令和12年度から6年間で、国保料水準を統一したいとしている。医療格差がある中では、本村は賛成できないと回答しているが、他の市町村は基本的に賛成の方向のようだ。どう対応していくのか、あまり遅くならない時期での検討が必要な状況となっている。

## 小学校統合・新設

**問** 来年4月に予定している小学校統合・新設後の校舎として使用する伊保内小学校の校舎については、どのような

**答** 新たな改修費用を予算に盛り込んでいくのか。  
**答** 当初予算は村長選挙を控えた骨格予算であることから、補正予算で教室改修などの投資的経費を追加する考えである。伊保内小学校に関しては、起債手続きのため当初予算での措置が必要となる校内ネットワーク機器増強事業と指定避難所機能の強化を目的とした体育館のトイレ改修工事を計上している。

**問** 子どもの数が減少している中、戸田保育園は施設の老朽化が目立ってきている。これからのことを検討しなければならないのか。  
**答** 実態に合わせて、考えていかなければならないと思っている。新年度以降、検討を加えていきたい。

# 予算特別委員会

令和6年度予算案を慎重に審査

## 「まさざねGO」をどう使うか

3月に開催される第1回定例会は、予算議会といわれるように、私たちの暮らしと密接にかかわる1年間の予算を審査する議会です。村の台所事情はどうなのか、限られた予算で何をやるのか。令和6年度予算案については、議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会(中村國夫委員長)を設置して慎重に審査が行われました。



予算特別委員会

予算特別委員会では、付託を受けた令和6年度予算案9件を審査。後期高齢者医療特別会計については賛成多数で、他の8件の予算案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議に報告しました。



令和5年1月14日に運転が開始された風力発電施設

## 固定資産の税収

**問** 固定資産税の予算額が大きく伸びている。これは、風力発電施設の完成によるところが大きいと思うが、何年くらい税収が見込めるのか。

**答** 風力発電施設の耐用年数は、20年程度と見込んでいます。この施設のように複数の市町

## 令和6年度の会計別予算額

会計名	令和6年度	令和5年度	伸び率
一般会計	47億1442万円	50億4720万円	△6.6%
特別会計			
国民健康保険	6億7275万円	6億8297万円	△1.5%
後期高齢者医療	8101万円	7408万円	9.4%
農業集落排水事業	公営企業会計へ移行	3787万円	皆減
下水道事業	公営企業会計へ移行	1億5337万円	皆減
索道事業	1636万円	1531万円	6.9%
戸田財産区	577万円	787万円	△26.7%
伊保内財産区	703万円	906万円	△22.4%
江刺家財産区	497万円	705万円	△29.5%
計	55億231万円	60億3478万円	△8.8%
公営企業会計			
水道事業	4億4057万円	2億397万円	116.0%
収益的支出	1億4932万円	1億4010万円	6.6%
資本的支出	2億9125万円	6387万円	356.0%
下水道事業	2億8775万円	-	新設
収益的支出	1億7634万円	-	新設
資本的支出	1億1141万円	-	新設
計	7億2832万円	2億397万円	257.1%
予算合計	62億3063万円	62億3875万円	△0.1%

※ 農業集落排水事業と下水道事業は令和6年度から下水道事業となり、これまでの特別会計(官庁会計)から、公営企業会計方式へ移行しました。

(5) ※ 75歳以上のタクシー助成とデマンド交通については、「広報KUNOHE 2024年4月号」の16・17ページに詳細が掲載されています。



小学校統合・新設の際の校舎は、現伊保内小学校の校舎を改修して使用する計画となっている

## 条例 令和7年4月に統合・新設の小学校 学校名を`九戸小学校`と決定

### 小中学校設置条例を改正

令和7年4月に村内五つの小学校を廃止し、統合・新設する小学校(新小学校)の名称を「九戸村立九戸小学校」とする条例の改正案が提出され、全会一致で可決されました。

この条例改正は、令和5年第1回定例会において村内小学校の統合・新設を決めた九戸村立小中学校設置条例の一部を改正する条例(令和7年4月1日施行予定)において、「(仮称)九戸村立九戸小学校」としていた新小学校の名称から「(仮称)」の表記を削除するものです。これにより、新小学校の名称が「九戸村立九戸小学校」と決定されました。

**村民が愛着を持てる校名を選択**  
新小学校の名称について、次の三つを選定の理由とし、「九戸村の小学校ということ、学校に通う児童はもちろんのこと、村民の皆さんに分かりやすく、愛着を持てる名称」としたと、提案理由の説明がありました。

#### ● 選定の理由は三つ ●

- ・新しい学校は、村内全域が学区となる村内唯一の小学校であること。
- ・他市町村の方からも、九戸村の小学校であることが明瞭であること。
- ・村内の特定の地区を指す名称ではなく、村の名称や中学校の名称とも一体性が保たれること。

### 放課後児童クラブの運営基準 安全計画策定の義務付けなど追加



放課後児童クラブ

本村では小学校の児童を対象に、放課後における児童の健全育成を図るため、学童保育施設(放課後児童クラブ)を伊保内小学校校舎内に開設して運営しています。

- 児童福祉法に基づき定める放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童の安全確保など四つの事項を「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の設備と運営に関する基準」を定める条例に加えるものです。
- 1 利用者の安全確保のための安全計画策
  - 2 児童を移動するための義務付けに関する規定
  - 3 感染症や非常災害の発生時における継続的な業務実施のために講ずべき措置に関する規定
  - 4 感染症・食中毒の予防やまん延防止のために講ずべき措置に関する規定

## 下水道と農業集落排水事業 特別会計2会計を廃止

### 公営企業へ 4月に移行



下水道処理施設を見学する児童

本村の公共下水道事業と農業集落排水事業は、会計方式が令和6年4月1日に官庁会計から公営企業会計へ

移行されます。これに伴い、下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計を廃止する条例が村から提出され、可決されました。

▼九戸村個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例  
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づいて条例で定めている個人番号の利用範囲について、同法の改正に伴い「特定個人番号利用事務」に関する事項を定めるものです。

▼会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
地方自治法の改正により、令和6年度から会計年度任用職員に勤

▼職員の子供休業等に関する条例の一部を改正する条例  
地方自治法の改正が行われたことから国の例に準じ、令和6年度から育児休業中の会計年度任用職員においても、基準日以前の勤務期間に応じて勤労手当を支給しようとするものです。

## 議決 宇堂口辺地に係る 総合整備計画を策定

「宇堂口辺地に係る総合整備計画」を議決しました。この計画は、同辺地の公共的施設の整備を進めるために策定するものです。計画内容は、次のとおりです。

### ●計画期間 令和6年度から令和10年度まで

施設名	事業費	辺地対策事業債の予定額
村道・橋梁	5億4500万円	5億4500万円

### ※ 財政上の特別措置

辺地の公共的施設整備については、市町村が策定する総合整備計画に基づいて整備する場合は、財政運営上で有利となる「辺地対策事業債」を財源とすることが可能となります。辺地対策事業債は、他の地方債と比較して充当率が100%と高く、元利償還金の80%が普通交付税の基準財政需要額に算入される有利な財政措置のある地方債です。



新たに整備された瀬月内集落センター

## 瀬月内集落センター 村の農村地域集会所に追加

村農村地域集会所施設条例が改正され、農業振興や生活改善の推進、地域の活性化を目的に設置している施設に瀬月内集落センターが加えられました。

同センターについては、火災焼失したことから施設の指定管理者であった瀬月内自治会

と村が損害賠償の和解決をしていただくことが、その和解内容に同一自治会が新たに建物を整備し、村に所有権が移転されたことから条例を改正するものです。なお、和解については、令和5年第1回定例会で議決されています。

### 議決された29施設の指定管理者

●指定期間 令和6年4月1日から令和7年3月31まで(1年間)

施設の名 称	指定管理者とした団体
九戸の宿ふるさとの館	株式会社九戸村総合公社
ふるさと創造館	
九戸村雑穀加工施設	
パークゴルフ場	
コロポックルランド	
オドデ館	
まちの駅「まさざね館」	九戸村商工会
九戸村屋内ゲートボール場	九戸村ゲートボール協会

●指定期間 令和6年4月1日から令和10年3月31まで(4年間)

施設の名 称	指定管理者とした団体
瀬月内集落センター	瀬月内自治会
宇堂口地区農村婦人の家	宇堂口自治会
泥ノ木地区集落センター	泥ノ木自治会
妻ノ神集落センター	妻ノ神自治会
山根集落センター	山根部落会
荒谷桂藤会館	荒谷桂藤会館運営委員会
小倉ふれあい会館	小倉ふれあい会館管理委員会
銀杏会館	長興寺銀杏会館運営委員会
荒田地区集落センター	荒田地区集落センター運営委員会
雪屋集落センター	雪屋集落センター管理運営委員会
田代生活改善センター	田代生活改善センター運営委員会
おりつめ構造改善センター	おりつめ構造改善センター運営委員会
丸木橋サークルセンター	丸木橋サークルセンター運営委員会
山屋集落センター	山屋自治会
細屋ふれあいセンター	細屋自治会
宇堂口地区農村公園	泥ノ木公葬地保存会
荒谷地区農村公園	荒谷桂藤会館運営委員会
戸田地区コミュニティ消防センター	戸田元村自治会
南田地区コミュニティ消防センター	南田町内会
長興寺地区コミュニティ消防センター	長興寺地区コミュニティ消防センター運営委員会
江刺家地区コミュニティ消防センター	江刺家地区コミュニティ消防センター運営委員会

※ 指定管理者制度とは  
指定管理者制度は、施設の管理に民間の能力や創意工夫を取り入れることにより、利用サービスの向上と効率的な管理運営を行うことを目的とした制度です。

### 議決 指定管理者 サービス向上に向けて

指定期間が満了となる村の29施設について、管理運営を行う団体の指定を行いました。



株式会社九戸村総合公社が引き続き指定管理者として管理運営することとなった「オドデ館」



二戸広域の議員に  
保大木 信子 議員  
保大木 信子 議員

欠員(一人)となっていた二戸地区広域行政事務組合の議会議員の選挙を行い、保大木信子議員を選任しました。任期は、令和9年6月30日までです。この組合は、二戸地区市町村の事務を共同処理するために設置されています。

全53議案のうち、52議案が全会一致で「可決」されました。



### 令和6年第1回定例会 賛否が分かれた議案

議 案 名	議 員 氏 名											審議の結果
	大崎 優一	久保えみ子	渡 保男	川 戸 茂男	中 村 國夫	坂 本 豊彦	岩 淵 智幸	保 大 木 信子	古 舘 巖	高 崎 覺志	桂 川 俊明	
令和6年度九戸村後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	可決

※「○」…賛成、「×」…反対、「欠」…欠席、「-」…桂川議長は、賛否同数などの場合にのみ採決に加わりません。

### 令和5年度予算の補正



― 特別会計予算6件を補正 ―

#### ▶国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

予算総額から138万8000円を減額し、6億8158万4000円としました。内容は、特定健康診査等業務委託料など、事業の実績見込みによる差額の減額です。

#### ▶農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

予算総額に2247万7000円を追加し、6043万円としました。内容は、事業の実績見込みによる差額を減額し、令和6年度の公営企業会計への移行に備えて一般会計繰入金等を財源とする予備費2300万8000円を増額するものです。

#### ▶下水道事業特別会計補正予算(第4号)

予算総額に1409万9000円を追加し、1億7473万9000円としました。内容は、事業の実績見込みによる差額を減額し、令和6年度の公営企業会計への移行に備えて一般会計繰入金等を財源とする予備費1564万3000円を増額するものです。

#### ▶戸田財産区特別会計補正予算(第2号)

予算総額から229万3000円を減額し、598万9000円としました。内容は、財産区管理委員選挙執行経費などの実績見込みによる差額の減額です。

#### ▶伊保内財産区特別会計補正予算(第2号)

予算総額から176万3000円を減額し、751万2000円としました。内容は、財産区管理委員選挙執行経費などの実績見込みによる差額の減額です。

#### ▶江刺家財産区特別会計補正予算(第1号)

予算総額から93万1000円を減額し、612万2000円としました。内容は、財産管理資金積立金114万1000円、12分団と13分団の小型動力ポンプ更新寄附金20万2000円の増額のほかは、財産区管理委員選挙執行経費などの実績見込みによる差額を減額するものです。

### 一般会計3億511万円を減額 (補正予算第9号)

予算総額から3億511万8000円を減額し、51億2321万8000円としました。内容は、事業の実施に必要な予算を追加するとともに、事業実績見込みによる差額の減額と繰越明許費等を決定するものです。

#### ●追加した主な予算●

- ・財政調整基金積立金…………… 3516万円
- ・一般減債基金積立金…………… 1089万9000円
- ・農業集落排水事業減債基金積立金…………… 303万4000円
- ・除排雪業務委託料…………… 1339万3000円
- ・定期バス路線運行維持対策事業費補助金…………… 186万9000円
- ・自立支援介護等給付費…………… 665万円
- ・農業集落排水事業特別会計繰出金…………… 2170万5000円
- ・下水道事業特別会計繰出金… 1057万7000円

#### ●減額の大きな予算●

- ・土木費…………… 2億1327万8000円
- ・災害復旧費…………… 2680万2000円
- ・衛生費…………… 2486万5000円
- ・総務費…………… 2092万6000円

#### 繰越明許費は4億5797万9000円

事業名	金額
戸籍情報システム等改修事業	1027万7000円
農道改良事業	2154万9000円
道路維持修善事業	8845万7000円
公共土木施設災害復旧事業	3億3769万6000円

※ 繰越明許費とは  
歳出予算のうち、なんらかの事情や性質上の理由により、年度内にその支出を終わらないと見込まれるものを、議会の議決を経て翌年度に繰り越して使用できるようにする経費をいいます。

### 反 対 討 論

▽令和6年度後期高齢者医療特別会計予算「制度に問題あり」  
久保えみ子議員  
後期高齢者医療制度は、75歳という年齢を超えただけで、安上がりの医療を押し付ける差別制度だ。元の老人保健制度に戻して保険料や窓口負担を軽減し、高齢者が安心して医療を受けられるようにするべきだ。

令和6年度の一般会計や特別会計、公営企業会計合わせて九つの会計の予算が可決されました。予算の内容や審議の様子については、2ページから5ページに掲載しています。

当初予算  
令和6年度

# 議員は何をしているの？

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。  
ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。



1月

- 25日 令和6年第1回臨時会 本会議(議案審議)  
九戸村村政調査会
- 29日 二戸地区広域行政事務組合議会議員全員協議会
- 30日 九戸村村政調査会

2月

- 5日 北部地区町村議会議長会正副議長・事務局  
長合同会議  
県北地区選出県議会議員との懇談会
- 13日 議会広報常任委員会  
平庭地域市町村議会議員連絡協議会議員研修会
- 16日 岩手県町村議会議長会第75回定期総会・第2回政務調査会
- 19日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会・定例会
- 26日 議会運営委員会
- 28日 九戸村村政調査会、議会議員全員協議会



「チキン産業と岩手県北」を演題に講演が行われた平庭地域市町村議会議員連絡協議会の議員研修会=2月13日

3月

- 4日 令和6年第1回定例会 本会議(開会、村長・教育長  
施政方針演述、議案上程)  
各常任委員会、議員全員協議会、九戸村村政調査会
- 7日 令和6年第1回定例会 本会議(一般質問)
- 8日 令和6年第1回定例会 本会議(議案審議)  
予算特別委員会 ~14日まで
- 12日 議員全員協議会
- 15日 令和6年第1回定例会 本会議(議案審議、閉会)
- 26日 九戸村村政調査会



村政調査会で村からデマンド交通に関する情報や行政改革プログラムの報告を受ける議員=3月26日

## 請願・陳情の 出し方

- ① 請願書(陳情書)はその趣旨、理由を簡潔に分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ③ 請願書は一人以上の紹介議員が必要で、表紙に自書による署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員がつかないときは、陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は、簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

### (記入例)

(表紙)	(内容)
請願(陳情)書	令和 年 月 日 九戸村議会議員(氏名)殿 請願(陳情)者の住所 氏名 〇〇〇について 請願(陳情) (要旨) (理由)
紹介議員 氏名	



## 新たに始まる 戸籍サービスの手数料を制定

令和6年第1回臨時会は、1月25日に開かれました。臨時会では、村長から提出のあった条例案1件と補正予算案1件を審議。全ての議案を全会一致で、原案のとおり可決しました。

### ※ 戸籍謄本等の広域交付

本籍地以外の市区町村の窓口でも戸籍謄本等を請求できるようになりました。

#### ▶ 請求できる戸籍等と交付手数料

- ・戸籍謄本 450円
- ・除籍謄本 750円
- ・改製原戸籍謄本 750円

#### ▶ 請求ができる人

本人(戸籍に載っている人)、配偶者、直系尊属(父母、祖父母など)、直系卑属(子、孫など)



### ▶ 村手数料条例の一部を改正する条例

この条例改正は、戸籍法の改正に伴う地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に準じ、新たに開始される次の戸籍サービス手数料を定めるとともに、字句の整理を行うものです。改正条例は、令和6年3月1日から施行されています。

#### ① 戸籍謄本等の広域交付

戸籍謄本等の広域交付(※)が可能となったことにより、手数料を定めるもの。同手数料は、本籍地での交付と同額と定められました。

#### ② 電子証明書提供用識別符号の発行

電子証明書提供用識別符号の発行が始まることに伴い、発行手数料が定められました。

- ア 戸籍に係る発行手数料 1件400円
- イ 除籍に係る発行手数料 1件700円

※ マイナポータルを利用する場合や戸籍証明書等と同時に取得する場合は無料。

#### ③ 届出等情報内容証明書の発行

戸籍の届書等を画像情報として作成したものの証明書交付・閲覧が可能となったことから、その手数料を1通(件)350円と定めるものです。

### ▶ 令和5年度一般会計補正予算(第8号)

予算総額に3142万5000円を追加し、54億2833万6000円としました。

#### - 追加された主な予算 -

- ・戸籍住基関係システム改修業務委託料 … 584万円
- ・低所得世帯物価高騰支援給付金 … 2300万円
- ・消火栓更新工事負担金 … 167万円

## 新 議員を紹介します

令和6年4月14日に村議会議員補欠選挙(欠員1)が行われ、上村 昇議員が当選しました。任期は、前任者の残任期間である令和9年6月30日までです。

### 村民の皆さんと共に

「全ての世代が未来に希望を持てる村」となるように、将来を見据えて課題に取り組みます。



上村 昇議員  
(荒谷行政区・74歳)

### 議長交際費を公表

月	お祝い・会費	
	件数	金額
1月	2件	8000円
2月	1件	5000円
3月	0件	0円

※ 議長交際費とは、議長が議会の対外的活動を行うための経費です。各種団体の総会や式典の会費などが主なものです。

第1回臨時会  
こんなことが決まりました。





# 人材不足など介護現場は深刻だ 対応をどう考えているのか

村長▶介護サービスの安定的提供ができる  
環境づくりを支援していきたい

問 介護人材の不足や物価高騰が介護現場に深刻な影響を及ぼしている。村長は、介護現場の実情を、どのように把握しているのか。

村長 本村の介護現場の現状は、事業所等との会議で情報を共有しているが、特別養護老人施設の一部休床や在

宅介護サービスへの影響が既に表れている。特に人材不足は深刻で、事業所の運営や利用者にも影響が出ており、危惧している。人材不足への支援策として、村広報紙に求人情報を掲載するなどしてきたが、解消に至っていない。

来年度には、介護報酬の増額改定や第9期介護保険事業計画の始まりにより、ケアマネージャーが担当できる人数が増えるなどの改善が予定され、状況が変わることも予想される。それでも不足があれば、村独自の対応も必要と考えている。今後も事



介護予防教室でシルバーリハビリ体操(\*)を行う参加者ら

## 行革は進められているか

問 歴代の村長は、村行政改革推進委員会設置条例で定める「簡素にして効率的な村政の実現」を目指し、改革を推進してきた。現在、条例で規定する行政改革推進委員の委嘱、諮問のための会議は行われているのか。

また、改革の指針となる行政改革大綱(大綱)は、策定されているのか。推進委員の委嘱や会議が開催されていないのであれば、その理由は何か。

村長 行財政改革に対する思いは、私も強く持つっており、改革を推進するため行政改革推進委員会(推進委員会)を置いて取り組んでいる。



新年度実施方針などが審議された行政改革推進委員会=3月21日

を安定的に提供できる環境づくりを支援していきたい。また、村では要介護

者が増えないように取り組むことが必要だと考え、介護予防事業に力を入れている。

推進委員会の任務は、村長の諮問に応じ、改革に関する重要事項を調査審議し、意見を述べることであり、令和6年3月21日までの任期で、有識者10人を委嘱している。大綱については、令和2年度に策定している。推進期間を概ね5年間とし、課長補佐級職員で構成する改善委員会で実施状況を取りまとめ、課長等で構成する

推進会議で効果を検証。推進委員会に意見を求め、その結果を反映させて改革を推進しようとするものだ。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度は会議を見合わせている。令和3年度は改善委員会、令和4年度は、改善委員会と推進会議で実施状況の確認と効果検証を行っている。推進委員会に関しては、開催予定時期と新型コロナウイルスの再流行時期が重なるなど実施時期を逸することとなり、誠に遺憾に思っている。本年度においては、改善委員会は開催済みであり、この後、推進会議で検証し、3月21日に推進委員会を開催する予定としている。

# 九戸地域診療センターの 機能充実にどう取り組む考えか

村長▶病床の復活や常勤医師の増員を  
県や医療局に粘り強く要望していく



問 村内唯一の医療機関である県立二戸病院附属九戸地域診療センター(診療センター)は、村民の命を守る砦である。

村民が望んでいる「入院ができる」病院となるように。また、医師確保により医療体制が強化されるよう村長が先頭に立ち、取り組んでほしいが、村長はどう考えているのか。

村長 診療センターの充実に関しては、県に対する「市町村要望」や県医療局への要望を続けている。また、本村出身の医師との情報交換なども行って、対応を検討してきた。

「要望を行うこと」の重要性は、私も認識しており、県医療局等へ要望することで、診療センターの常勤医師が突然不在となった際には、短期間に医師が配置されたり、精神科医師の



九戸地域診療センターの充実強化などを県に要望した令和5年度の「市町村要望」

派遣が始められたりもしている。

しかしながら、常勤医師の増員については、県内全体の医師不足から実現に至っていない。医師不足に関しては、岩手県市町村医師養成事業(\*)により、解消を図っているところだ。

今後の診療センターの充実強化に向けては、粘り強く働きかけることが必要である。常勤医師の増員や医療従事者等の充実、病床復活などを県や県医療局に引き続き要望していきたい。

## 体育館へ空調の設置が必要

問 昨年の夏は、平均気温が統計を取り始めて以来、最高を記録するなど、学校体育館の猛暑対策は緊急課題となっている。体育館は災害時の避難所として活用されていることから、空調設備の設置は急務だと考える。

設置工事は、学校施設環境改善交付金の対象となり、令和7年度まで補助率が3分の1から2分の1に引き上げられている。また、緊急防災減災事業債も利用できる。こうした



災害時には避難所としても利用される学校体育館。空調設備の設置には断熱性確保が必要となる=江刺家小学校

支援策を活用し、空調設備の設置に取り組むべきではないか。

村長 小中学校のエアコン整備は、私の公約でもあり、普通教室へは設置済みだが、体育館には未設置のため学校では、熱中症予防に苦慮しながら対応したことは承知している。また、学校体育館は、議員指摘のとおり、避難所に指定されている。令和7年度の小学校統合後においても収容人数等を考えると、その役割を

残さざるを得ないと考えており、対策の必要性を感じている。しかしながら、体育館には断熱機能が確保されておらず、断熱機能確保が必要がある。この断熱化工事と空調設備工事を、現在の6校全部に実施する場合、文科科学省の試算によると3億9600万円の工事が見込まれる。加えて、一般財源で賄う必要のある電気料金などに毎年140万円の支出が必要となる。今後の事業実施に当たっては、限られた予算をどこに投入していくのか判断しなければならぬ。また、小学校統合後の学校再編の動向もある。学校体育館の空調設備については、貴重な提言と受け止め、大きな課題として検討していきたい。

\* 特別な道具を必要とせず、関節可動域や筋力の向上などを目的とした体操。介護予防に効果のある体操として全国に普及している。

\* 県内で勤務する医師確保を目的に、岩手県と県内全市町村が将来、医師として県内で地域医療に従事しようとする者に奨学金を貸し付ける事業。

# 小さな太陽

## =明日をひらく子どもたち=



キラキラ輝く瞳。大きな夢なら負けません。

このコーナーでは、そんな太陽のような目をした子どもたちに登場してもらいます。

### 九戸の魅力

### 伝える未来

伊保内小学校 6年 本地 萌衣さん



九戸村は、たくさんの方の良さがあ  
る素敵な村です。しかし、人口減  
少により、商店街のにぎわいが失  
われつつあります。そこで、村全体  
がにぎやかになるような取り組み  
を三つ提案します。

一つ目は、季節にちなんだ「縁  
日」です。例えば夏だったら、お祭  
りのような屋台や、水を使った演  
出などを行います。涼しさを感じ  
られるお祭りです。涼しさを感じ  
暑さも気にせず楽しむことがで  
きると思います。

二つ目は、九戸村の豊かな自  
然をめぐる「スタンプラリー」  
です。水芭蕉公園や雨堤みな  
ど、九戸村には、あまり知られ  
ていない魅力的な自然がたく  
さんあります。その自然を楽しく  
めぐること、九戸村の自然の良

さを感じてもらえると思います。  
三つ目は、九戸村の特産品の  
「特売デー」です。鶏肉や山ぶど  
うなどを多くの人に食べてもら  
うことで、九戸村の食の魅力を知  
てもらえると思います。

私たち九戸村の魅力ある自然  
や特産品を多くの人に知ってもら  
うことで、村全体がにぎやかにな  
り、より明るい九戸村になっ  
ていくのではないのでしょうか。

伊保内小学校最後の  
年なので、「あ・い・さ・つ」の  
合言葉のもとに、さわやかな  
あいさつを広げていきます。



児童会執行部の6年生

### あとがき

厳しい冬も去り、暖かな風に誘われて、  
春の草花が咲き、山々も新緑に包まれ  
る季節となりました。

新年度予算も可決され、これからも村  
民の皆さんが住みやすい、住み続けたい  
村となるよう努力していく所存です。

「議会だより」は、皆さんに手に取って  
いただけるよう、少しずつではありませ  
が、改善しております。

議会傍聴にも多くの方々足を運んで  
いただき、引き続き議会へのご理解、ご  
協力をよろしく願っています。

議会広報常任委員会

副委員長 保大木信子

発行責任者

副委員長 保大木信子

議長 桂川 俊明

委員 渡 保男

◆議会広報常任委員会

委員長 坂本 豊彦

委員 岩淵 智幸  
高崎 覺志



表紙の写真紹介

表紙の写真は、長興寺小学校新1年  
生の7人です。4月8日、来年4月に統  
合を迎える村内の全小学校では入学  
式が行われ24人が、心わくわくの学  
校生活をスタート。今年1年、最高  
の思い出ができますように！